

KRC WEB REPORT

KRC ウェブレポート

2005年3月22日号 No.024

今月のキーワード：EM センサー適用事例

徒然想

巷で涙のある光景をよく目にする季節がやってきました。卒業式や入学式での惜別の涙、それを見つめる親御さんたちの感涙等々。そして、花粉症に苦しめられる悔し？涙。今年のスギ花粉の飛散量予測は、昨年少なかったとは言えその数十倍とまさに悲惨です。花粉症は誰でも発症する可能性があるということで、今年ついに花粉症学校へご入学された皆さんの流される涙。心よりお察し致します。ところで花粉飛散量の測定方法はというと、1cm²のガラス板に付着した花粉の個数を顕微鏡で見ながらひとつひとつ数えていくとか(3/100mmの粒々を)。とっても地道で忍耐のいる作業に思えます。世の中いつまでも測り方の探求テーマは多くありそうです。



2005年花粉飛散量(東京都)
環境省花粉観測システム

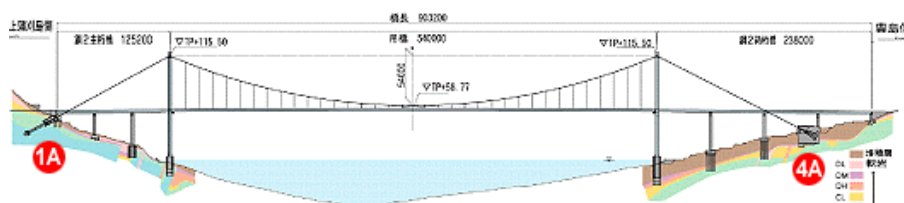
KRC TECHNICAL TOPICS

EM センサー適用事例：豊島大橋（仮称）ケーブル導入張力管理

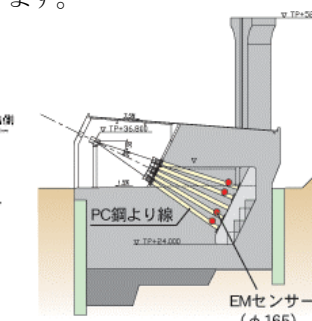
豊島大橋(仮称)は、広島県が地域産業の振興や広域市町村圏の充実など総合的発展のために建設を進めている安芸灘諸島連絡橋 全8橋のうち、3号橋として平成11年より建設が進められている橋梁です。単径間吊橋で、ケーブル定着方式は、本四連絡橋など多くの吊橋で採用されているアンカーフレーム方式とは異なり、PC鋼より線により、ケーブル張力をアンカレイジに伝えるPC定着方式を採用しています。さらに、蒲刈側1Aアンカレイジでは、日本で初めて岩着アンカレイジを採用しています。これは、抵抗体となる岩盤自体にプレストレスを導入し、岩盤の引き抜き耐力によりケーブルを支える構造です。

本業務は豊島側4Aアンカレイジにおいて、PC鋼より線の張力導入時に、EMセンサー(鋼材の軸応力測定器)を設置し、張力管理を行ったものです。通常、このような張力測定を目的とする場合、ロードセルを使用しますが、今回、EMセンサーを使用することにより、直接的に鋼材の軸応力を測定することが可能となることから、実際の張力を把握しながら、施工を完了することができました。今後、蒲刈側1Aアンカレイジにおいても、同様の張力管理を行う予定になっています。

【詳細はこちら http://www.krcnet.co.jp/f_works03.htm】



豊島大橋（仮称）側面図



EMセンサー設置位置 (4A アンカレイジ)

KRC NEWS

(株)計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせは、
電子メール：krc@krcnet.co.jp ホームページ：http://www.krcnet.co.jp/mail/mail_maga.htmで承っております。